



東京立川ロータリークラブ

2018.8.28 第2806回 例会

Weekly Report



【司会進行】

東京立川こぶしロータリークラブ

SAA委員会 栗原 一委員長

【開会点鐘】 清水淳一会長

【ロータリーソング斉唱】

『奉仕の理想』

ソングリーダー

東京立川こぶしロータリークラブ

村野俊介委員

【お客様の紹介】 東京立川こぶし

ロータリークラブ 岩崎太郎会長

【会長挨拶】 東京立川こぶし

ロータリークラブ 岩崎太郎会長

【幹事報告】 平井洋孝幹事

【ニコニコ発表】

親睦委員会 三浦 哲委員長

【出席率の発表】

出席委員会 肥沼俊男委員長

8月28日(火)	会 員 数	113名
	出 席 義 務 会 員	105名
	出 席 免 除 会 員	8名
	当 日 出 席 者	85名
	出席免除会員の当日出席者	1名
	出 席 率	80.19%
	8月17日の出席率	休 会

【ガバナー卓話】

国際ロータリー第2750地区ガバナー

服部陽子様

【閉会点鐘】 清水淳一会長

【会長挨拶】

東京立川こぶしロータリークラブ 岩崎太郎会長

東京立川ロータリークラブ、東京立川こぶしロータリークラブの皆様、本日は両クラブ合同でのガバナー公式訪問合同例会に御出席頂きまして誠に有難うございます。本日は最後まで宜しくお願い申し上げます。本例会はこぶしクラブがホストクラブという事で、若輩の会長ですが冒頭の挨拶をさせて頂く事をお許し頂ければ幸いです。また本日例会の進行に関しては、清水会長・平井幹事には色々アドバイスを頂き、有難うございました。本日の例会前に1クラブ50分という長い時間をガバナーより頂きました。クラブ概要説明、地区への要望事項、事前にガバナーより頂いていた宿題についてお話させて頂きました。私達にとってはたった一度の面談ですが、ガバナーにおかれては同様の面談を90回以上行われているのかと考えますと、まだ前半戦ではありますがお体の事も心配になりますが、どうか頑張ってくださいと思います。服部ガバナーは地区のテーマとして、クラブ、そして地区、国際ロータリーとの繋がりの大切さを強調されております。その言葉通り、年初に発行されましたガバナー月信特別号の発行、ホームページのリニューアル、スマートフォンアプリの開発等、矢継ぎ早に様々な施策を取り入れてられました。これからはクラブが、個々のロータリアンがこの環境を利用し、地区とクラブ、国際ロータリーとの繋がりを深めていく必要があると考えます。この後ガバナーには30分という限られた時間ではありますが、卓話を頂戴いたします。卓話を契機に地区とクラブの繋がりがより深まる事を祈念し、両クラブが協力してロータリークラブの発展と立川市の繁栄に貢献できる事を祈念して、挨拶と致します。本日は宜しくお願い申し上げます。



東京立川こぶしロータリークラブ
岩崎太郎会長

【お客様の紹介】 清水淳一会長

岩崎太郎会長(東京立川こぶしロータリークラブ)

服部陽子様(国際ロータリー第2750地区 ガバナー)

安保 満様(国際ロータリー第2750地区 ガバナー補佐)

加藤高白様(国際ロータリー第2750地区 地区幹事)

富沢為一様(国際ロータリー第2750地区 地区幹事)

相田禎延様(国際ロータリー第2750地区 グループ幹事)

小田原潔様(東京日野ロータリークラブ)

2018~2019年度 RIテーマ

2018~2019年度
国際ロータリー会長
バリ・ラシ



インスピレーションになる

2018~2019年度 クラブテーマ

「一期一会
ロータリー」

東京立川ロータリークラブ
会長 清水淳一



司会進行
東京立川こぶしLC
原 一委員長



ソングリーダー
東京立川こぶしLC
村野俊介委員



ニコニコ発表
三浦 哲委員長



出席率発表
肥沼俊男委員長



例会時には必ずバッジをつけましょう



【幹事報告】 平井洋孝幹事

- 8月28日18:30より、第一回クラブ協議会がホテル日航立川で開催予定。
- 8月29日親睦委員会炉辺、ワシントンホテル・カフェドパリにて開催予定。
- 9月4日職業奉仕委員会炉辺、パレスホテル立川瑞麟にて開催予定。
- 8月30日例会は、本日ガバナー公式訪問例会により振替で休会、次回例会は9月7日。
- 9月もクールビズ対応。



【ニコニコ発表】 親睦委員会 三浦 哲委員長

- 清水淳一会長 国際ロータリー第2750地区 服部ガバナー、同じく加藤地区幹事、同じく富沢地区幹事、多摩中グループ 安保ガバナー補佐、同じく相田グループ幹事のご来訪を歓迎致します。また、本日は東京立川こぶしロータリークラブの皆様には最初から最後までお世話になり、感謝申し上げます。ありがとうございます。
- 平井洋孝幹事 服部ガバナー 加藤地区幹事、富沢地区幹事、安保ガバナー補佐、相田グループ幹事、本日は大変お世話になりました。
- 岡崎 淳さん ガバナー服部陽子様、先日の新会員オリエンテーションでは、お世話になりました。本日も宜しくお願い致します。

本日合計 17,000円 本年度累計 614,000円

国際ロータリー第2750地区ガバナー 服部陽子様

本日の例会に先立ちまして、東京立川ロータリークラブ、東京立川こぶしロータリークラブの会長・会長エレクト・幹事の皆様と、懇談を持つ機会を頂きました。両会長からそれぞれの今年度の方針をお話し頂き、クラブにかける熱い思いを語って頂きまして、感銘を受け心強く感じました。



ガバナーの役割で大切な事は、国際ロータリー会長のテーマ、またその方針やお考えをお伝えするという事がありますので、そこから始めたいと思います。今年度国際ロータリーの会長はバリー・ラシンさんですが、カリブ海に浮かぶ美しい島、バハマのご出身です。イーストナッソーRCの会員ですが、ナッソーはバハマの首都です。RI会長の今年度のテーマは「インスピレーションになろう Be the inspiration」ですが、このテーマは皆様どう捉えているでしょうか。短いテーマだと思いますし、一体このテーマは何だろうかと感じる方もいると思います。インスピレーションは「ひらめき・幻想」という意味に使われる事が多いのですが、ここでは「インスパイア出来る人になろう」という意味になります。ではインスパイアするとはどういう事なのでしょう。これは周りの人を魅力的にさせる、やる気を起こさせる、鼓舞する、という事ですので、それが出来る存在になろうというのが今年度のテーマなのです。RI会長は、ロータリーは奉仕活動をする事で世の中の一隅を照らしていき、国際社会に対してインスピレーションになっていきましょと、強く訴えています。次にRI会長が今年度強調している事の一つは、ポリオ撲滅への支援です。ポリオ撲滅については、80年代から長年にわたり取り組んできた大切なテーマです。撲滅まであと一歩というのは大分前から聞いている方も多いかと思いますが、まだ撲滅には至っておりません。80年代に全世界に35万人いた患者が今では激減しておりますが、2015年からは更に74人、37人、21人と減っており、RI会長は今年度こそゼロにすると意気込まれておりました。残念ながら現在までに、12人の患者がパキスタン・アフガニスタンで発生しております。しかしここで完全に撲滅させないとまた数字が増えてしまいますので、ここからの努力も実は大切で、これからは医師というマンパワーも必要ですし、ワクチンの予算も必要になりますので、今年度第2750地区でもこれを優先事項の一つとしております。ロータリークラブは、地元社会の為に奉仕活動をするという基本姿勢がありますが、世界200カ国以上にRCは存在しており、グローバルな組織の一員としても、一つの事に向かってそれを達成し喜びを分かち合う事も、ロータリアンならではの事です。ポリオ撲滅の意義をご理解頂き、皆様にご協力頂けたらと思います。もう一つは、ロータリーデーの開催です。クラブでも地区でも開催して

欲しいとRI会長は話されていますが、このロータリーデーの目的は、人々にロータリーの存在とロータリーの活動を知ってもらふ事です。またその活動でロータリアン同士の交流も図りましょうという事です。この内容については特に決められている物ではなく、それぞれのクラブで自由に考えて行って欲しいとの事です。先程立川クラブでは、昭和記念公園での屋外コンサートを行なうという事をお聞きしました。地区としても一日、地区内のクラブが一堂に会してロータリーデーが出来る日という事で、2019年5月12日(日)に赤坂のアークヒルズ・カラヤン広場での開催を予定しております。屋外ではありますが、屋根もありますので雨天でも開催致します。ここにブースを設定致しますが、この内容に関しては皆様からご提案頂きたいと考えております。その他ステージ等も設置致しますので、お子様も喜ばれるようなショーも予定しておりますし、隣のサントリーホールにおいても、コンサートや奨学生によるスピーチコンテスト等も予定しております。皆様も是非ご予約を合わせて、ご家族その他大勢でご参加頂ければ幸いです。そしてまた、地区として今年度は「繋がり」を大切にしていきたいと考えております。ロータリークラブの会員間の繋がり、会員とクラブとの繋がり、またクラブと地域社会との繋がり、クラブと地区との繋がり、地区とRIとの繋がり、こういった関係を強化して距離を縮めていきたいと考えています。この繋がりがあってこそ、お互いがインスパイアし合って多くの活動が出来るという事の基盤になると思いますので、インスピレーションになる為にこの繋がりを強化したいと考えます。そこでまず、地区のホームページの充実を行なっています。単にスケジュール的な物をご覧頂くだけでなく、ロータリーの事が学べるような内容も盛り込んでいきたいと考えております。またそのホームページに気楽にアクセスして頂く為に、アプリケーション化をするという事を本年打ち出しております。スマートフォンから簡単にHPにアクセス出来るようになっており、またそこからMy rotary(RIのホームページ)にも簡単にアクセス出来るようになっております。更に地区内のロータリークラブともリンクされております。このアプリをダウンロードして頂くと、歯車のマークのアイコンが出てきますので、そこから地区のHPもご覧いただけますし、地区大会までの日にち等のお知らせもご覧頂けます。ただこの様な形を好まない方もいるかと思っておりますので、紙媒体として地区の情報が一冊に入っているガバナー月信特別号を7月に配布させて頂きましたが、是非手元で保管して頂きたいと思っております。こちらは年間を通してお読み頂けると有難く思います。地区99クラブの活動についてもご覧頂けますので、こちらをご活用頂き、是非会員と地区との距離を縮めて頂けたら幸いです。そしてグループを超えた同好会の支援ですが、ロータリーはそれぞれのクラブに同好会があるかと思っております。沢山のクラブの方が集まって、一つの同好会を作るのも楽しいのではないかと考えました。実際RIには世界中のクラブの人が集まって仲良くしようという事で、ロータリアン親睦グループというものがあります。その一つに囲碁のグループ

があり、新藤パストガバナーが熱心に進められております。RIへの登録は様々な規定があるようですが、まずは地区で幾つかのクラブでも作ろうという呼びかけをしました。しかしこれは地区が作るのではなく、地区はあくまでその場を提供するという役回りです。既に歌舞伎鑑賞の会や、ジャズを楽しむ会、世界のエンターテイメントを見る会、ロータリーの友を見る会というのも良いという意見も上がっていますので、ご興味のある方は是非ご参加頂ければと思いますし、親睦の場を拡げて頂きたいと思っております。次にインスピレーションになれるクラブになって頂きたいと思う訳ですが、これにはクラブ基盤の確立という事が大切になってくるかと思っております。幸い両クラブとも順調に会員数を伸ばされておりますが、更に今年度立川クラブが2名、こぶしクラブが4名の増強目標を掲げているとの事をお聞きしましたので、是非共達成に向けて頑張りたいと思っております。ここから少し昔のロータリーのお話しをしたいと思っております。ロータリークラブは1905年2月23日、シカゴにあるビル7階で、ポール・ハリスを始め4名の別の職業を持った仲間が集まって、会合を持った事からスタートしましたが、その後4名は協力してロータリーを発展させたと思われる方も多いかと思っております。しかし実際はそうではなかったようで、ガスター・バスロアという鉱山技師は健康上の理由によって退会を余儀なくされました。また紳士服仕立て屋のハイラム・ショーレーは2回しか例会に出る事はなかったそうです。会員増強の必要性は創立の頃からあったという事になります。しかし残る二人、ポール・ハリスとシルベスター・シールはその後のロータリーを大きく発展させていきました。2月にスタートしましたが、半年後には30名、更に1年後には約80名の会員になっていたのです。そして二つ目のロータリーをサンフランシスコにつくり、続けてアメリカ全土に広げていき、そこから世界中へと増やしていきました。日本も1920年に創立し2年後に100周年を迎えますが、RIは創立20年後にクラブ数が約2,000となりました。そして会員数は110,000人となりました。どうしてこのような短期間に、ロータリーをここまで発展させる事が出来たのでしょうか。その頃の会員は「ロータリークラブは、世界のどの様な団体とも一線を画す素晴らしいクラブだと確信していた」という事で、クラブに大変満足していたという事が言えます。そしてクラブに所属しているという事を周りの友人に話し、その友人を誘って入会してもらおうとそこで満足してもらえる、するとその方がまた別の友人を誘うというような繰返しの効果が出たのです。ではこの「満足」とは何なのだろうかという事ですが、「心から信頼できる良い仲間がいる」「社会の役に立っている」「自己研鑽を続けている」「他人を思いやる心を忘れない」「倫理性や高潔性を重んじる」「互いに高め合っていくという喜び」そういったものが「満足」に繋がっているのではないのでしょうか。そこから100年以上が経ち、変化を求められる時代であるから、ロータリーも変えた方が良いと求められる事がありますが、しっかり守るべき大事なものは守り伝統を伝えていく、一方で新しい時代に合った物を取り入れていく

という姿勢も大切なのではないのでしょうか。最近よく耳にする言葉に「戦略計画」といわれる物があるかと思いますが、これは複数年に渡って計画を立てて、クラブを活性化していきましようというのが根底にあるビジョンですが、大切な事は自分達のクラブが何を目指しているのか、どんなクラブになりたいのか、どんなクラブであり続けたいのかというビジョンを掲げる事が大切なのです。ではそのビジョンを達成する為にどのような年次計画を立てていったら良いのかを考えていくのですが、どのようになっていきたいかははっきりしたら、どのような変化が必要なのか、必要でないのかも見えてくると思います。規定審議会の結果は、クラブが比較的運営を自由裁量で決められるという事がありますが、これはクラブがどのような運営をしたいか、という考えがはっきりしているかどうかによって判断される訳で、これを決めた上で審議会での内容を取り入れるかどうか、会員同士で議論する事でより良いクラブを作っていく事が、「戦略計画」の一番の意味だと思います。両クラブはとても元気で良い状況にあるかと思いますが、これから5年後10年後にもこの素晴らしさが続くように、皆様で議論されると良いと思います。クラブを構成する会員の有り方ですが、一つのキーワードとして「多様性」があると思います。ロータリークラブ設立当初からあった職業分類による多様性があり、様々な年代の会員との交流が出来るという魅力があるという事で、そこにも多様性があります。違う世代の方々、違うバックグラウンド持った方々と成人を超えた領域で仲良くなる、というのはロータリー以外ではあまりないので、更にお互いにインスパイアし合うという事によって多様性の意味が出てくるのではないかと思います。是非良いクラブの基盤を作って頂きたいと思います。また女性会員が大変少ないという両クラブですが、社会的にも女性が活躍している中ですので、そういう側面でも多様性を考えるという事をして頂けたらと思います。最後

にお知らせですが、地区大会がグアムで開催となります。これは10年に1度の海外での開催で、今回は新藤パストガバナーの時でした。その頃は大きいコンベンションホールが無かったので、ドックレース場での開催でしたが、今回は2年ほど前に大きなホテルが完成しましたので、そこでの開催となり、期間が2019年2月22日～23日です。ロータリーの多様性に触れる貴重な機会となりますので、現在悩まれている方もいらっしゃると思いますが、是非ご参加ください。もう一つは国際大会です。こちらは2019年6月1日～5日まで、ドイツのハンブルグで開催されます。ここはドイツの古い港町で素晴らしい風景ですが、ガバナーナイトは6月2日にアトランティック・カンペンスキーというエレガントな5つ星ホテルにて開催となります。世界中のロータリアンと出会える機会ですし、ハンブルグに行く機会もなかなか無いかと思いますので、是非ご参加ください。本日は有難うございました。

【謝辞】 清水淳一会長

服部ガバナーを始め地区役員の皆様、朝から長時間にわたり公式訪問ありがとうございました。また、服部ガバナーには卓話を頂戴し重ねてありがとうございました。両クラブを代表して御礼申し上げます。さて、PBG（パシフィックベイズングループ）への訪問はもう終わったと聞いております。RI会長の考えや地区の方針「つながり」を大切にしていきたい思いを地区全クラブに伝えていくのは大変と思いますが、これからもお身体に十分ご留意され、ご活躍される事をご祈念申し上げます。グアム地区大会においてお元気な姿で、お目にかかれるのを楽しみにしております。本日は誠にありがとうございました。



掲示板

さようなら 山形立川ロータリークラブ

2018年6月末で解散した 山形立川ロータリークラブの解散会

6月末で解散となりました山形立川ロータリークラブの会員の皆様の最後の解散会の写真です。

胸の角プレートの方が会員、丸プレートの方が元会員、他にガバナー、事務局員、余目ロータリークラブより四名の皆様です。



山形立川ロータリークラブ 解散会 2018年6月18日 於 白鳥の滝ドライブイン

事務局／東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
【TEL】042-525-4046 【FAX】042-529-2666
【HP】<http://www.tachikawa-rc.org/>
【E-mail】ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp

例会場／東京都立川市曙町2-40-15 パレスホテル立川
TEL：042-527-1111
例会日／金曜日 12：30点鐘
会長／清水淳一 幹事／平井洋孝 会報担当者／清水督司委員